

## 【秋田県銘木青年会】

秋田県銘木青年会は、国内外のあらゆる銘木に関する研究と業界の振興・発展の目的で設立された団体です。年に1回開催の「銘木まつり」は、全国から銘木が出品される木材市として著名で、多くのバイヤーが能代に集まります。

木都能代として銘木に関する情報発信をするとともに、未来を担う子供たちが楽しみながら木育体験できる機会を提供し、木に触れ、木と生活する文化の継承を目指しています。また、地域における木材利用の拡大や森林環境の保全・育成に貢献しています。



### 有限会社 渡部製材所

〒016-0837  
秋田県能代市字西赤沼1-1  
Tel&Fax 0185-52-4769

秋田杉の伐根材を専門に製材しております。根に近いところから製材される板は、独特な歪柄が楽しめます。腰板やテーブルの材を作っています。



### 株式会社 渡辺事業所

〒016-0171  
秋田県能代市河戸川字下大須賀73  
Tel.0185-52-4501 Fax.0185-53-3554

天然秋田杉や神代杉を扱っております。鳥海山で採れた約2500年前の神代杉を使い小物(数珠やプレスレット・トレー他)やレジンを使い、テーブルを作製しています。

《ホームページ》



《インスタ》



### 有限会社 小林銘木製材

〒016-0133  
秋田県能代市字向田表76-2  
Tel&Fax 0185-58-2601

天然秋田杉、秋田杉を扱っております。主に国産材の針葉樹、広葉樹を扱い、創作家具や一枚板のテーブル等を製作しています。



### 瀬川銘木 株式会社

〒016-0814  
秋田県能代市中川原26-723  
Tel.0185-52-0905 Fax.0185-52-0907

秋田杉や全国各地の杉大径木を扱っております。大径木から製材される製品は重厚感があり圧倒されることでしょう。日本の杉の伝統文化を伝えていくことを信念としています。

《ホームページ》



### 日諸木材

〒018-2401  
秋田県山本郡三種町鶴川字鴨ノ子台22-13  
Tel&Fax. 0185-85-2731

格天井・建具材や杉・広葉樹の厚板を扱っております。木材の変色や割れを抑える低温乾燥材も提供しています。

《インスタ》



## 木都の歴史トピック

# 能代市は秋田杉によって生まれ、秋田杉と共に成長してきた街。

### ①秀吉に献上された秋田杉。

檜山安東氏によって行われた能代のまち立て。その大きな理由は米代川流域の秋田杉を海路京都や大阪に送るための集積地として、米代川河口にまちが必要だったためと言われています。安東氏は豊臣秀吉に秋田杉を献上。伏見城築城や朝鮮出兵の際の軍船などに使われました。戦国時代から、秋田杉は用材としての優れた性質が認められ、多くの武将から築城や城下町構築のために用いられました。やがて能代で運搬用の船の建造も始まり、畿内から多くの職人が派遣され、能代には大工、屋根ふき、鍛冶など様々な技術の集積がなされ、木都として栄えていく基礎が出来上がりました。

### ②秋田木材の隆盛

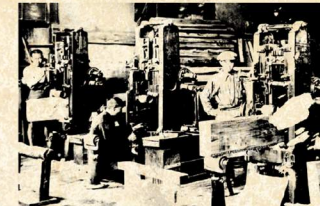


井坂直幹

木都能代を世に知らしめたのは、秋田木材株式会社を東洋一の木材会社に成長させた井坂直幹の功績です。井坂は明治22年、林産商會能代支店長として来能。徹底的な近代経営と機械製材を推進しました。機械で製材される秋田杉は、均一性などの性能に優れて、秋田杉の名を全国に広げました。明治40年、秋田木材株式会社を設立し、国内はもとよりアジアにも支店を展開。能代は東洋一の木材都市と称されるまでになりました。井坂は労働時間の短縮、組合の結成など労働環境改善にも尽力、また貧困救済や奨学金制度も確立し市民の生活改善や人材育成にも貢献しました。



米代川河口臨に広がる秋木本社工場全景



機械化を推進した秋木。大正時代には自社製機械の導入も果たした。

### ③杉材高度加工技術「張柁」の登場



杉材を紙のように薄くスライスする加工技術。

木都能代は、戦後の復興住宅特需で益々隆盛を続けました。しかし秋田杉の濫伐で、材料の枯渇と高騰が危惧されていました。そこで登場したのが張柁製材です。杉材から紙のように薄い杉材を製作し、集成材やベニヤなどの安価な木材に張り付けるもの。杉材の命と言われる木目、鮮やかな色合い、杉の香りなど杉材の素晴らしさはそのまま、価格は当時で20分の1程度を実現。昭和40年当時、能代市内の張柁、合板関連の製材工場は17か所、従業員は三千名を上回っていました。

### ④木都能代のいま

現在、能代の木材関連会社は山林から木材を伐採する専門会社、住宅や店舗用など一般建築材製材会社、神社仏閣に用いられる銘木製材会社、住宅や店舗、ホテルなどの内装や扉などの建具製造会社、日本酒祝い樽など製樽会社、樽丸技術をおひつやテーブルウェアなどに生かした伝統工芸品会社、木材を活かした家具製造会社など幅広く特徴的な会社が存在しています。世界を相手に活躍する会社も少なくありません。

### 能代木材産業連合会

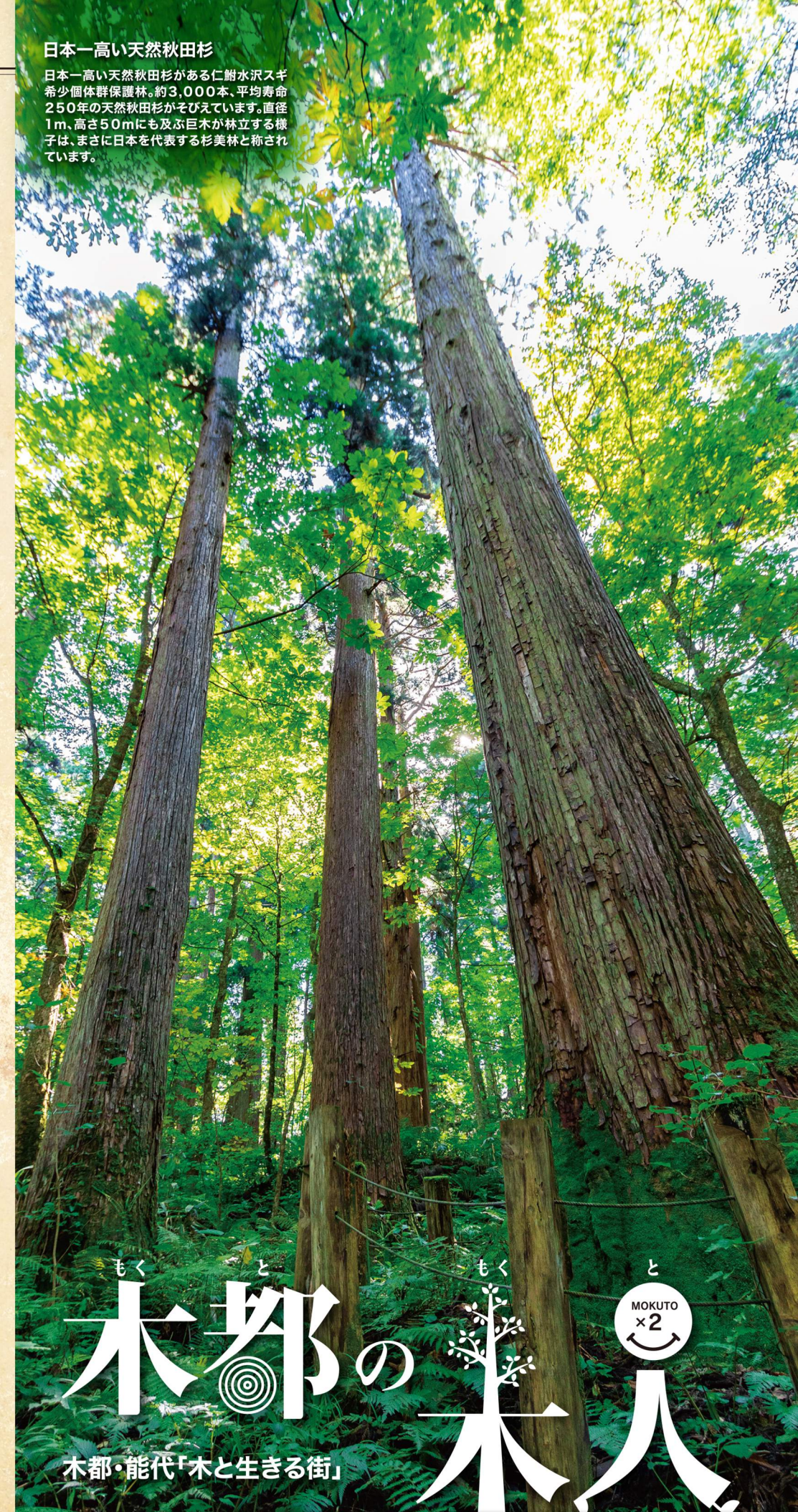
〒016-0171 秋田県能代市河戸川字上山63-6  
tel. 0185-52-6407 / fax. 0185-88-8829 mail. n-mokusanren@shirakami.or.jp  
能代の木材産業関係企業が集まり、木材産業の振興と発展に寄与する事業を行う団体です。平成25年度より能代市の指定管理を受けて「能代市技術開発センター・木の学校」の運営を行っています。



編集協力/ 秋田県立大学 木材高度加工研究所 足立 幸司 准教授 ●能代市地域おこし協力隊 花下 哲 ●リブアウトアートワーク 秋田県水と緑の森づくり税を活用しています。

### 日本一高い天然秋田杉

日本一高い天然秋田杉がある仁耐水沢スギ希少個体群保護林。約3,000本、平均寿命250年の天然秋田杉がそびえています。直径1m、高さ50mにも及ぶ巨木が林立する様子は、まさに日本を代表する杉美林と称されています。



木都・能代「木と生きる街」

# NOSHIRO, THE "CITY OF WOOD"



# 木都周遊MAP

学び 体験 体感 お土産

木都能代には木を楽しめる施設や場所が沢山あります！是非、木のぬくもりに触れてみてください。



**サイエンスパーク・能代市子ども館**  
〒016-0803  
能代市大町10-1  
tel.0185-52-1277



**能代市旧料亭金勇**  
〒016-0825  
秋田県能代市柳町13-8  
tel.0185-55-3355



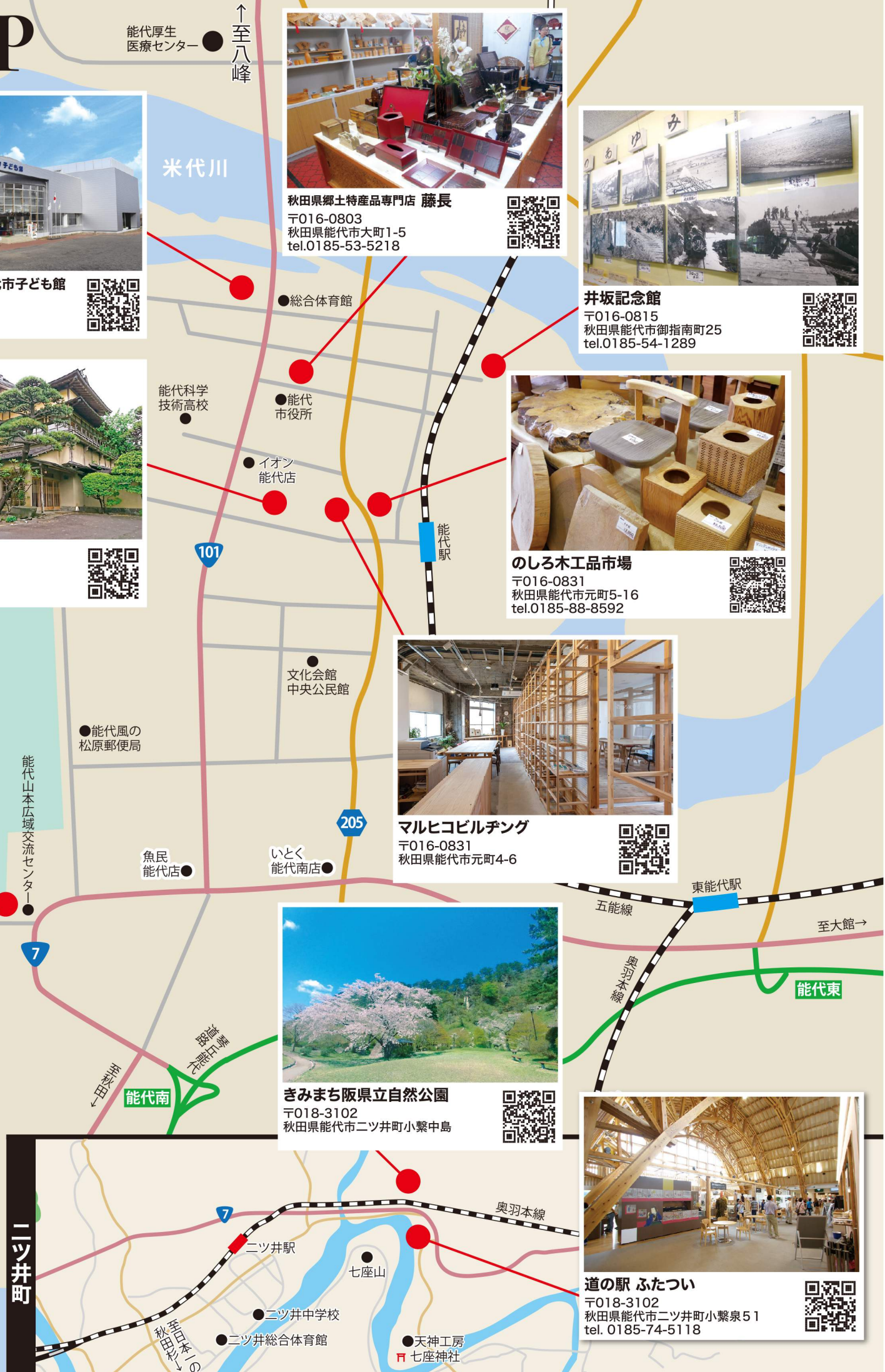
**風の松原**  
〒016-0813  
秋田県能代市能代町日和山下  
tel.0185-88-8802(能代観光協会)



**秋田県立大学 木材高度加工研究所**  
〒016-0876  
秋田県能代市字海詠坂11-1  
tel.0185-52-6900



**能代市 技術開発センター・木の学校**  
〒016-0171  
秋田県能代市河戸川南西山18-19  
tel.0185-52-5249



**秋田県郷土特産品専門店 藤長**  
〒016-0803  
秋田県能代市大町1-5  
tel.0185-53-5218



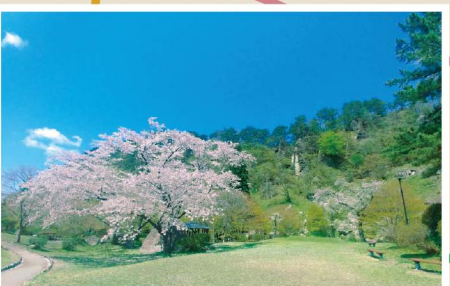
**井坂記念館**  
〒016-0815  
秋田県能代市御指南町25  
tel.0185-54-1289



**のしる木工品市場**  
〒016-0831  
秋田県能代市元町5-16  
tel.0185-88-8592



**マルヒコビルディング**  
〒016-0831  
秋田県能代市元町4-6



**きみまち阪県立自然公園**  
〒018-3102  
秋田県能代市二ツ井町小繋中島



**道の駅 ふたつ**  
〒018-3102  
秋田県能代市二ツ井町小繋泉51  
tel. 0185-74-5118



## 伐採

計画造林の推進により、先人が植林した杉を計画的に伐採、植林が進められています。



## 競り

銘木センターには伐採された良質丸太が集まり、次々に競り落とされていきます。



## 銘木



秋田杉をはじめ全国の銘木が出品され、全国の目利きバイヤーが競り合いを演じます。

## 建築材



住宅や店舗などは幅広い建築物を支える良材として、全国に流通しています。



## そして、暮らしの中で生きる木

扉や障子など伝統的な建具を新しい技術で製造。断熱性や防火性、またデザイン性に優れた製品は全国的に高い評価を得ています。



祝い樽やおひつ、弁当箱など、長年培われた伝統工芸技術が生きています。